

小4

## ◆低い土地のくらし◆

上巻17回

氏名

得点

各10点  
120点

1	濃尾平野は美濃国（今の①県）から尾張国（今 の②県）に広がる。①②に当てはまる県名を記 号で答えなさい。 ア、鹿児島 イ、岐阜 ウ、愛媛 エ、愛知	①	②
2	A、B、Cの川を選んで答えなさい。 (長良川、木曽川、揖斐川)	A ( ) 川 B ( ) 川 C ( ) 川	
3	今から約260年前、木曽三川の流れを分ける工 事を行った藩は、今の鹿児島県にあたります。 その藩は何藩ですか。		
4	まわりを堤防で囲まれた低い土地を( )とい う。		
5	問4の地域で、水害をさけるため一段高いとこ ろにつくられた建物は( )である。		
6	問4の地域で、かつて移動や農業に欠かせなか ったものは( )である。		
7	水はけの悪い土地の地下に、小さな穴のあいた 管をうめて、土の中の余分な水を排水する仕組 みは( )である。		
8	海津市では、( )で囲んだ土台の上に建てら れた家が多く見られる。		

9	梅雨の終わりごろなどに、せまい地域で短い時間に大量に降る雨は（ ）である。	
10	川が運んできた土砂が河口の近くに積もってできた、低く平らな土地を（ ）という。	
11	<p>昔の水害のようすなどを今に伝える石碑のこと</p> <p>を（ ）という。</p> <p>地図記号をヒントに→</p> 	
12	<p>こうずい　洪水や津波、火山の噴火などによる被害を予測した地図を（ ）という。</p>	

小4

## ◆低い土地のくらし◆

上巻17回

氏名

満点どれ太

得点

各10点  
120点

1	<p>濃尾平野は美濃国（今の①県）から尾張国（今 の②県）に広がる。①②に当てはまる県名を記 号で答えなさい。</p> <p>ア、鹿児島 イ、岐阜 ウ、愛媛 エ、愛知</p>	①イ ②エ
2	<p>A、B、Cの川を選んで答えなさい。 (長良川、木曽川、揖斐川)</p>	<p>A (揖斐) 川 B (長良) 川 C (木曾) 川</p>
3	<p>今から約260年前、木曽三川の流れを分ける工 事を行った藩は、今の鹿児島県にあたります。 その藩は何藩ですか。</p>	さつまはん 薩摩藩
4	<p>まわりを堤防で囲まれた低い土地を（ ）とい う。</p>	わじゅう 輪中
5	<p>問4の地域で、水害をさけるため一段高いとこ ろにつくられた建物は（ ）である。</p>	水屋
6	<p>問4の地域で、かつて移動や農業に欠かせなか ったものは（ ）である。</p>	田舟
7	<p>水はけの悪い土地の地下に、小さな穴のあいた 管をうめて、土の中の余分な水を排水する仕組 みは（ ）である。</p>	暗きよ排水
8	<p>海津市では、（ ）で囲んだ土台の上に建てら れた家が多く見られる。</p>	石垣

9	梅雨の終わりごろなどに、せまい地域で短い時間に大量に降る雨は（ ）である。	しゅうちゅうごうう 集中豪雨
10	川が運んできた土砂が河口の近くに積もってできた、低く平らな土地を（ ）という。	さんかくす 三角州
11	<p>昔の水害のようすなどを今に伝える石碑のことを（ ）という。</p> <p>地図記号をヒントに→</p> 	しぜんさいがいでんしょうひ 自然災害伝承碑
12	こうずい　ふんか　ひがい 洪水や津波、火山の噴火などによる被害を予測した地図を（ ）という。	ハザード・マップ°